

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870600750
法人名	株式会社 ジェイコム
事業所名	グループホーム丹原の郷
所在地	愛媛県西条市丹原町池田1267番地1
自己評価作成日	平成22年6月16日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成22年6月28日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<ul style="list-style-type: none"> ・花や野菜を育て、散歩や窓からの景感を楽しみ、収穫も楽しんで頂けるようにしている。 ・軽い運動を行う時に利用者さんが一緒に過ごし楽しめるようにソファを置いている。 ・季節の果物狩りに出かけている。（苺、すもも、いちぢく、ぶどう、柿など） ・利用者個々の菊の鉢を作り、秋の菊見会に向け育てている。
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

<p>職員のアイデアで、食後の下膳がしやすいように、食器を入れるかごを準備して、ご自分で下膳が続けられるようにされていたり、壁面飾りやケア等もアイデアを出し合い決めておられる。昨年度は、職員の勉強会に力を入れて取り組まれており、全職員で認知症の理解を深めたり、介護技術の習得等にも取り組まれた。</p> <p>月に1回、市の栄養推進委員会があり、調理実習等もあって、習った料理やおやつを事業所のメニューに採り入れておられる。</p> <p>利用者は、特に夜間時にご本人の思いを話して下さるようで、職員は、ゆっくりと利用者の思いに寄り添うようにされている。又、さみしそうな表情の利用者には、お話を聞く時間を取るようになっている。</p>

・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目：28)		

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 グループホーム 丹原の郷

(ユニット名) 南町

記入者(管理者)

氏名 山内 美登里

評価完了日 平成 22年 6月 16 日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) 職員がそれぞれ理解でき覚えることができるように、各自の名札の裏に理念を記載しており、自己確認できるようにしている。職員間でも話し合いをし、実践できるように努力している。	
			(外部評価) 理念の一つに「地域行事に参加しよう」と掲げて、商店街の七夕の飾りの協力をされたり、地域の集まり等にも積極的に参加され、地域と交流する機会を大切にされている。職員個々は、年に2回、個別にケア目標を決めて、それぞれが目標を達成できるよう日々取り組まれている。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 地方祭、七夕祭り、地区の運動会や文化祭などの公民館活動や年始の行事の案内を頂き、参加しているホームで菊見会を開催しており、地域の方や近隣老人施設を招待している。	
			(外部評価) 事業所では、大輪菊や懸崖菊等を数多く育てておられ、新聞やテレビにも取り上げられている。年々、見物人が増えて、利用者も来客を喜ばれており、菊をきっかけにして事業所のことを知ってもらったり、協力者等も増えてきている。ご近所の方に菊の鉢を飾ってもらえるようお配りしたり、近くの一人暮らしのご老人が事業所に来て、菊を5鉢育てておられたりもする。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) ・地域の方から認知症の相談を受けている ・運営推進会議を通して、認知症について、理解を深めていただけるような話をしている	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実 際、評価への取組み状況等について報告 や話し合いを行い、そこでの意見をサービ ス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>利用者、家族、地域の方、市の職員、公民館職員の方、消防署職員の方に参加していただき、事業所としての取組みをアルバムを使って報告し、率直な意見を聞かせて頂いている。また、会議で出た意見を早い時期に取り入れるように実践をしている。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>会議には、昨年度から公民館長の方の出席をいただき、地域行事の案内等もよくしてもらっている。ユニットごとに、ご家族が1名ずつ出席されており、事業所を利用しての感想等を話してもらったり、利用者も出席されて食事への要望等も出されている。防災や外部評価等、事業所の行事や活動等を報告して参加者から意見を聞くようにされている。</p>	
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>管理者が対応している。運営推進会議に参加して頂いている。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>介護相談員の方が月に1回来られ、気付いたことを話してくださっている。月に1回、市の栄養推進委員会があり、調理実習等もあって、習った料理やおやつを事業所のメニューに採り入れておられる。</p>	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>研修に参加している。事業所内での勉強会に取り入れ職員全員が理解を深めていけるように取り組んでいる。 身体拘束は行っていない。日中は入り口などに鍵はかけておらず、利用者個々の希望に応じて、戸外で過ごせるように支援している。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>外部研修で職員が身体拘束について勉強したことをもとに、事業所内で職員の勉強会をされたり、管理者は、日々の中で職員に身体拘束をしないケアの大切さを話しておられる。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 研修に参加したり、研修で学んだことを勉強会や申し送りを通じて職員全体に伝えるようにしている。又、職員間でも声かけし、注意し合うように努めている。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 研修に参加したり、勉強会を開いたりして学んでいる。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 管理者及び職員が対応している。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 2ヶ月に1回運営推進会議を開いて家族や利用者などから意見を聞き対応している。 (外部評価) 「事業所通信」や「日常生活報告書」を毎月送付して、事業所の様子やご本人の状態について報告をされている。ご家族の来訪時、職員はご家族と話す機会を持ち、ご本人の普段の様子を伝えて意見をうかがっておられる。花見や敬老会、クリスマス会等にはご家族も招き、ともに楽しむ機会を作っておられる。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	<p>運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	(自己評価)	
			<p>職員に意見を聞いたり、相談をするなどをして、運営に反映できるようにしている。</p>	
			(外部評価)	
			<p>職員のアイデアで、食後の下膳がしやすいように、食器を入れるかごを準備して、ご自分で下膳が続けられるようにされていたり、壁面飾りやケア等もアイデアを出し合い決めておられる。昨年度は、職員の勉強会に力を入れて取り組まれており、全職員で認知症の理解を深めたり、介護技術の習得等にも取り組まれました。</p>	
12		<p>就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	(自己評価)	
			<p>管理者が職員に意見を求めるなどし、労働時間や休憩時間の確保など改善に向けて努めてくれている。</p>	
13		<p>職員を育てる仕組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	(自己評価)	
			<p>希望する研修や、必要な研修など積極的に参加させてくれている。又、月に1回勉強会を開き、外部から講師を招いたり、職員が研修で学んだことを他の職員に伝えたりしている。</p>	
14		<p>同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	(自己評価)	
			<p>会社全体での講習会を開いたり、一年に一回は総会を開き、交流の場を作っている。東予地区のグループホーム連絡協議会の研修会に参加して、情報交換などを行っている。</p>	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		<p>初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	(自己評価)	
			<p>ゆっくりと話をすることで、本人の要望や不安などを聞き、安心して過ごして頂けるように努めている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>入居前や入居時に管理者が対応し、家族の意見や要望を聞いている。入居時には職員も家族の意見や要望を伺っている。面会時にも家族の方と話し、要望等を聞いている。</p>	
17		<p>初期対応の見極めと支援サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>利用者、家族、職員、ケアマネージャーを交え話し合いの場を持ち、必要としている支援について話し合っている。</p>	
18		<p>本人と共に過ごし支えあう関係職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>利用者個々の生活リズムを把握し、できることはして頂き、職員や利用者同士で家事やレクリエーションを行っている。</p>	
19		<p>本人を共に支えあう家族との関係職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>面会時に、日ごろの様子を家族に伝えている。体調に変化のあった時はすぐに連絡している。面会時にはゆっくり過ごせるよう、お部屋に案内し、お茶を一緒に飲んで頂いたりして、よい関係が保てるよう支援している。</p>	
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>事業所内のデイサービスの利用者の方の中に知り合いの方がいれば、話ができるよう支援している。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>利用者が事業所の窓から見える山を見て、以前登ったお話をしてくださったり、地元の人には懐かしい国民休暇村にお茶を楽しみに出かけることもある。お友達が来られた際には、居室でおしゃべりが楽しめるようにお茶等、気配りをされている。</p>	<p>さらに、利用者個々の行ってみたい場所や懐かしいところ等を訪ねるような支援もすすめてみてはどうか。ご本人の思いの把握をすすめ、又、ご家族のご理解やご協力をいただけるよう、働きかけ等も工夫されてみてほしい。</p>

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 行事の時、お茶や食事の時には職員も一緒にテーブルを囲み、利用者同士の関係が円滑になるよう働きかけている。散歩時には方同士、話はずまれ、お互い気遣い合っている。	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 菊見会の行事に招待したり、入院した利用者に対してはお見舞いに行ったりと継続的な付き合いができるように心がけている。また、ご家族からの相談にも対応している。	
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 「認知症だから聞くのは無理」など決め付けるのではなく、本人の視点に立って意見を出し合い、日々の関りの中で把握に努めている。 (外部評価) 利用者は、特に夜間時にご本人の思いを話して下さるようで、職員は、ゆっくりと利用者の思いに寄り添うようにされている。又、さみしそうな表情の利用者には、お話を聞く時間を取るようにされている。	さらに、現在はご本人の情報を大まかに収集されているが、さらに具体的な情報の蓄積に努め、介護計画につなげていかれてほしい。利用者個々の意向等を引き出せるような声かけを工夫されたり、又、情報を集める書式等の工夫も重ねていかれてほしい。
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) プライバシーに気を配りつつ、ご本人やご家族から生活内容を聴き取るようにしている。	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 出来る事に注目し、安心と安全を保ちながらその人らしく生活していけるように援助している。食事や水分摂取量や排泄チェック、バイタル測定をし、体調の変化を把握している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ご本人やご家族に日頃の関りの中で意見を聞き三ヶ月毎に職員全員でカンファレンスを行い、介護計画を作成している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>ご本人やご家族の要望、職員の気付き等を踏まえて、ユニットごとの計画作成担当者が利用者個々の介護計画を作成しておられる。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>個別のファイルに、食事、水分摂取量、排泄等身体的状況及び日々の暮らしの様子などを記録している。勤務開始前には全職員が確認することを義務付けている。</p>	
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ご本人やご家族の状況に応じて通院や送迎等の支援は柔軟に対応している。状況に応じて、ショートステイやデイの利用をできるようにグループホームの多機能性を活かしている。</p>	
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>利用者が安心して地域での暮らしを続けられるよう消防署、公民館、民生委員等の方と意見交換する機会を設けている。また、周辺住民の方へボランティアへの協力を呼びかけている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	(自己評価) ご本人やご家族が希望する今までのかかりつけ医や医 療機関による受診や通院を支援している。基本的には ご家族同行の受診となっているが不可能なときは職員 が代行するようにしている。	
			(外部評価) 利用者の体調や状態等については、医師に相談して受 診した方が良ければ、ご家族に相談して受診支援をさ れている。専門医等の受診についてもご家族等と相談 しながら支援されている。	
31		看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	(自己評価) 看護職員を配置しており、常に利用者の健康管理や状 態変化に応じた支援を行えるようにしている。看護職 員がいない時間は介護職員の記録をもとに確実な連携 を取っている。	
			(外部評価)	
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療でき るように、また、できるだけ早期に退院でき るように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。	(自己評価) 入院時には本人の普段の状況や特徴、本人への支援方 法に関する情報を医療機関に提供し、職員が見舞うよ うにしている。家族とも情報交換しながら退院支援に 結び付けている。	
			(外部評価)	
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価) 本人と家族の安心と納得をえられるように話し合いを 行っている。また状態の変化があるごとに、本人や家 族の思いに注意を払い、支援につないげている。	
			(外部評価) 事業所は、利用者ご本人の状態や実情に合った適切な 施設で支援を受けられるように、ご家族等とも話し合 いながら支援されており、時にはご家族の近くにある 介護施設を紹介されることもある。入居時には、入浴 設備等、重度化した際の支援に制限があることを説明 し、了承の上で入居するようになっている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 勉強会を行っている。消防署の協力のもと救命救急や応急手当の講習を受けている。緊急時対応についてのマニュアルを整備している。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) マニュアルを作成し、消防署指導のもと、避難訓練を行っている。地域の協力体制については、運営推進会議で協力を呼びかけている。また、近隣の方に依頼をしておき、避難訓練に参加していただいた。	
			(外部評価) 4月には、スプリンクラーを設置され、近所の方も参加して避難訓練を実施された。近所の方々に利用者の避難誘導等をしてもらったり、地域の方も含めた連絡網を整備されていた。台所のガスコンロは、職員が離れる時には火を消すことに気を付け、又、職員の喫煙場所も決めて、火を出さないよう気を付けておられる。	
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 排泄や入浴の時など、声かけに配慮し、お誘いしている。主介護者以外に、本人のプライバシーに関する話を話さない。	
			(外部評価) トイレや居室で介助する際には、ドアを閉めて行うよう気を付けておられる。調査訪問時には、食後に職員がさりげなくつまようじを準備されたり、職員は、利用者に笑顔でゆっくりと話しかけておられた。利用者同士の関係等を踏まえて、時にはユニット間で利用者が異動することもある。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 利用者に合わせて、声かけをしている。聞き取りにくい方には耳元で大きい声で対応している。利用者から食べたいものを聞き出し、月2回あるリクエストメニューに取り入れている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 一人一人の体調に配慮しながら、その日その時の本人気持ちを尊重している。散歩やレクリエーション時、個々の状態や思いに配慮しながら柔軟に対応している。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 個々の生活習慣に合わせて支援している。外出行事のときは、着る服をご本人に選んでいただけるよう支援している。自己決定がしにくい利用者には職員と一緒に考えている。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 食材切り、盛り付けなど一緒に行っている。いりこの骨取りなど、指先を使ったことも一緒に行っている。食事が終わると職員と一緒に食器を下膳したり、洗ったりしていただいている。	
			(外部評価) 併設デイサービスで献立を立ててくれるようになっており、旬の食材を利用して、利用者は野菜の下ごしらえをする等、事業所で調理されている。月に2回は、利用者の希望するメニューを採り入れておられ、ユニットによっては、焼き肉や握り寿司も楽しまれている。又、事業所で室内運動会を行った際の賞品をユニットごとにリクエストできるようになっており、利用者の意見で果物やお肉等を希望されたようだ。食前に、飲み込みが良くなるように、歌を歌いながら体操をされている様子がうかがえた。事業所の菜園で採れた野菜が食卓に上ったり、梅やらっきょを漬けておられた。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 食事量、水分量を一日通して、熱計表に記録している。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 毎食後、歯磨きを勧めている。義歯の磨き残しがあれば後で職員が洗いなおしている。週二回就寝前に義歯の洗浄剤を用いて、義歯の洗浄を行っている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) 時間や習慣を把握し、トイレ誘導している。一人一人の状態を把握し、紙パンツの使用を減らすよう職員間で話し合い実行している。 (外部評価) 利用者個々に記録を付けて排泄の誘導をして、トイレで排泄できるように支援されている。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 朝食にバナナやヨーグルト、プルーンなどを取り入れている。散歩など身体を動かす機会を設けて自然排便できるように取り組んでいる。	
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) 入浴回数や長さは利用者の希望に合わせている。時間帯は14時前後より入浴している。 (外部評価) 入居間もない頃、入浴を嫌がられる利用者には、職員が一緒にお風呂に入ったこともある。現在は、午後から入浴するようになっており、毎日入浴する方や1日おきに入浴する方、体調等もみながら支援されている。入浴剤を使用したり、ネットを使って石鹸を泡立てて顔を洗い、化粧水を付ける方もいる。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) リビングにソファを置いたり、廊下や居室には椅子を置きゆっくりとしてもらうようにしている。就寝に向けては、温かい飲み物を飲み、寝付きやすくなるよう配慮している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 薬表のコピーなどを整理し、職員が把握できるように努めている。 服薬時は本人に手渡したり、口に入れる等の介助をし、きちんと服用できているか口腔内の確認している。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 一人一人の得意なことやできそうな仕事をお願いし、感謝の言葉を伝えるようにしている。 利用者の経験や知恵を発揮し、梅干し作りや干し柿作り等をしている。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 天気や本人の気分に応じて散歩に出かけたり、お弁当を持って戸外に出かけたりしている。	
			(外部評価) 毎日、午前中散歩されたり、時には、靴等の買い物に行くこともある。受診等でご家族と受診に付き添われた際には、外食して帰られる方もある。季節の花を見に出かけたり、地域の行事等にも積極的に参加されている。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 毎週、移動パン屋が来ているので、食べたいパンを選びお金を支払い、楽しく買い物が行えるよう支援している。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 電話をかけたいと希望する利用者の方はいないが、家族の方からかかってきた時は、子機を使用し、話しやすい雰囲気作りをしている。 年賀状を出すための支援をしたり、利用者の希望に応じてお便りを出せるよう支援している。家族からお便りが来たらできるだけ返信するように職員はハガキを用意したり、一緒に文章を考えたり支援をしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>共用の空間に季節ごとの花や緑のものを飾り季節感を出している。壁面にも季節ごとの作品を飾り楽しんでいる。</p> <p>(外部評価)</p> <p>折り紙や布を使ってアジサイやかたつむりの飾りを作って掲示されていたり、玄関やユニット入口等、各所に季節のお花を生けておられた。居間には畳のスペースがあり、洗濯物を畳んだり、ちょっと横になって過ごされている方もあった。</p>	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>ソファや椅子を利用して、レクリエーションをしたり皆で歌を歌ったりして楽しく、ゆったりと過ごせる様に工夫している。</p>	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>入居時に、ご本人が使い慣れている家具や日用品を持参していただけるよう依頼している。また居室ごとにコルクボードを貼り自分の作品や写真を飾っている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>コルクボードに写真やお手紙を貼ったり、ご家族のお位牌を持ち込まれている方もある。又、窓には日よけのすだれを掛けておられるところもあった。</p>	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<p>(自己評価)</p> <p>トイレや浴室には見やすい表示をしている。自立されている方はそれを目安に行動している。また居室ごとに表札をかけており、各自、認識出来る方はそれを見て確認し利用する。</p>	